会議記録

附属機関の名称	第１回熊谷市総合振興計画審議会
開催日時	令和２年１月２７日（月）１４時から１５時０５分まで
開催場所	熊谷市役所　議会棟第４委員会室
出席者	【委員】計１２名 野澤久夫会長、大久保和政副会長、小鮒賢二委員、加藤道子委員、木村進委員、白石守司委員、松永勲委員、福嶋良三委員、金子貞雄委員、宇野悦郎委員、小林真委員、宮下良友委員 （※吉田公一委員、長又則之委員、関口恒雄委員は欠席） 【事務局】計５名 富岡市長、持田総合政策部長、丸山企画課長、竹村副課長、市原主幹、西村主幹
傍聴人	０人
問い合わせ先（所管課）	総合政策部企画課（市役所本庁舎３階） 電話　０４８－５２４－１１１１（内線５２９）
内容	**１　開会**　熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱に基づき会議の概要を公開することの承認、欠席者の報告 **２　委嘱状の交付**　富岡市長から委嘱状を交付 **３　あいさつ**　富岡市長からあいさつ **４　自己紹介**　委員、事務局職員それぞれが自己紹介 **５　会長・副会長の選出**　会長に野澤委員、副会長に大久保委員を選出 **６　議事**　審議会条例第６条第１項の規定により、会長が議事進行 ⑴　総合振興計画の推進状況について （事務局説明）最初に「行政評価による進行管理の全体イメージ」について説明する。「立案 plan」、「実施 do」、「評価 check」、「改善 action」の「マネジメントサイクル」を実施し、政策を立案し、事業を実施し、実施した事業について評価を行い、その改善点を、次の政策・施策に生かしていくというものである。 この進行管理の「立案」は、総合振興計画、毎年度の実施計画と予算編成が該当する。「実施」は、各課が実施する様々な事務事業をいう。「評価」は、「成果指標の把握」、「進捗状況の把握」、「アンケート調査の実施」、及び「事務事業評価」があり、これらの評価結果を受け、「改善」点を翌年度の立案に反映させる。 次に「成果指標の実績値及び進捗状況について」説明する。それぞれの施策の評価は、成果指標（めざそう値）の実績値及び進捗状況、市民アンケート結果から見る施策の重要度（優先度）、事務事業の評価を勘案し実施してい

	る。成果指標には、統計などの客観的なデータから把握する数値と、市民アンケートにより把握する数値がある。平成 30 年度の成果指標の状況は、「順調」が 43.8%、「おおむね順調」が 36.0%、「遅れている」が 19.1%となっている。 次に「事務事業評価について」説明する。事業担当課が、事業ごとに定量的な分析を過年度の事業実績との比較により行い、数字だけでは評価しきれない部分を定性的な分析による評価を行って今後の方針を導き出し、企画課が事務事業の内容等を勘案し、総合評価をまとめた。平成 30 年度事業の総合評価は、現状維持が 548 事業、事業拡大が 19 事業、事業縮小が 12 事業、事業完了が 35 事業、手段変更が 16 事業、廃止・断念が 1 事業、合計 631 事業となった。 続いて、資料 1 「成果指標の実績値及び進捗状況一覧」に基づき、説明する。平成 30 年度の実績値と前期基本計画のめざそう値との比較を基に、進捗状況を判定している。 成果指標の状況の主なものでは、政策 1 の「スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち」、施策 3 「観光を推進する」の観光入込客数は、熊谷市スポーツ文化公園でのスポーツレクリエーションを通した来客数の増加、報道による効果もあり増加した、さくら祭の来客数が主な要因となり、順調な伸びを示している。 政策 2 「健康で安全・安心に暮らせるまち」では、施策 1 「防災・危機管理体制を整え、災害・テロに備える」の、防災メールの登録者数が着実に伸びている。また、施策 2 「防犯体制を整え、犯罪を抑制する」の「メルくま」防犯・交通安全情報の登録者数が伸びており、市民の意識の高さと周知活動の成果が見られる。一方、施策 5 「健康づくりを推進する」の、特定健康診査の受診率が現状値からあまり伸びておらず、今後も力を入れていかなければならない部分と考えている。 政策 3 「人にやさしい思いやりのあるまち」では、いずれも、「おおむね順調」または「順調」という結果となった。第 2 次総合振興計画では、次世代を担う子どもたちの笑顔があふれるまち熊谷　輝く未来へトライを将来都市像として掲げていることから、施策 1 「子どもが健やかに成長できる環境をつくる」は、重要な取組と考えている。そして、人口減少社会では、誰もが活躍できる社会づくりが求められていることから、高齢者・障害者への施策も継続して進めていく必要があると考えている。 政策 4 「環境にやさしく自然が豊かなまち」では、自然環境や生活環境の保全に関する施策は、「おおむね順調」だが、施策 3 「ごみの発生を抑制し、再利用を促進する」、施策 4 「地球温暖化対策を推進する」は「遅れている」となっていることから、引き続き、市民の皆様への理解と協力を求め、取組を推進していきたいと考えている。 政策 5 「人が集い活力ある産業が育つまち」では、雇用・産学連携の分野

	で、「遅れている」指標がある。市内の産業振興による、働きたい人が働き続けられる環境づくりは、持続可能なまちづくりに必要不可欠な環境整備と考えられることから、指標が向上するよう取り組んでいきたい。 政策６「快適で暮らしやすいまち」は、「おおむね順調」だが、施策１「安全で快適な魅力あるまちをつくる」の中心市街地の歩行者・自転車通行量の進捗状況が「遅れている」となっている。引き続き、にぎわいを創出し、交流人口の増加による活性化を図っていきたいと考えている。 政策７「地域に根ざした教育・文化のまち」では、施策１において、学力日本一を掲げており、全国学力・学習状況調査の結果、埼玉県平均を上回っている状況となっている。引き続き、子どもたちの知・徳・体のバランスの取れた、学力を伸ばす取組を進めていきたい。 政策８「市民と行政が協働して創る満足度の高いまち」では、人権意識が向上していると思う市民の割合や「男女共同参画社会」という言葉の周知度は、伸び悩んでいる。引き続き、全ての人が活躍できるまちとなるよう、互いの人権を尊重する意識づくりを推進していきたい。施策６の健全な財政運営を推進するについては、市税の納税率、将来負担比率ともに、「順調」となっているが、次世代の負担軽減には、なお一層の経費削減や自主財源の確保を図る必要があることから、公共施設の整理統合と機能向上に向け、施設ごとのアセットマネジメント基本計画を策定し、現在取組を推進しているところである。 資料２は、「まちづくり市民アンケート」調査の報告書である。調査対象は18歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人に調査票を郵送し、1,125人の方から回答をいただき、回収率は37.5%となった。回答者の属性、アンケートの集計結果、市民生活についての調査結果、施策の重要度（優先度）についての調査結果をまとめている。 資料３は事務事業評価結果の一覧表で、平成 30 年度に実施した事業を今年度評価し、評価結果を翌年度の令和２年度の予算編成に反映するものである。全部で631の事業を評価し、86.8%の事業が現状維持となっている。現状維持となった事業は、今後も事業の必要性や市民ニーズなどを適切に把握しながら実施し、事業縮小となった事業は、事業の必要性自体は認めている中で、取組内容を改善していく事業となる。事務事業の評価結果を踏まえて、予算編成が行われる。 （意見、質問等） （委　員）本日の審議会は、審議事項はあるか。 （事務局）本日は、第２次計画の初年度となる平成 30 年度事業の進捗状況報告を主な議事としており、審議事項は特段ないが、資料を御覧の上、御意見や御質問をいただきたいと考えている。 （委　員）成果指標の進捗状況が「遅れている」ものが重要であると考える。

	特に政策１「スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち」のスポーツツーリズムの推進が「遅れている」となっている事が気になる。ラグビーワールドカップの勢いを落とさず、スポーツと観光が連動して進めてほしい。 （委　員）台風 19 号の災害があったが、再生不可能な文化財の保護に力を入れてほしいと思う。 （委　員）事務事業評価の中で、「地域づくり応援事業」の「手段変更」とはどういうことか。 （事務局）「くまがや市民まごころ運動推進事業」との事業統合により、地域活動を行う団体に相応の補助金を交付できる様に制度を見直すものである。 （委　員）まちづくり市民アンケートの設問内容が知りたい。 （事務局）委員宛にお送りする。 （委　員）成果指標の評価について、4 段階評価では実態が分からず限界ではないかと思う。例えば、7－1－1「全国学力・学習状況調査」の結果は、素晴らしい成果であり、「順調」と判定している。一方 7－3－1「図書館図書の貸出冊数」は、県内でも最下位に近いが、「指標」を「冊数」としていることから「おおむね順調」と判定している。実情が分かるコメントを追加するのも一案だろう。担当部署において、客観的評価を行っているか懸念される。 （事務局）事業担当課による評価を受けて、企画課において総合評価するヒアリングの際、そういった視点で取り組みたい。 （委　員）今の意見について、課題を一緒に示して頂くことも一案だと思う。 （委　員）中心市街地活性化のための横断的な議論が必要だと考えている。こうした審議の場でも取り上げ、カバーできる施策があれば進めて欲しいと思う。 （委　員）今後のスケジュール等についてお聞きしたい。 （事務局）総合振興計画は計画期間を 10 年とし、さらに 5 年毎に前期・後期と分けた基本計画を立案し、毎年度事業は実施計画として立案の上、事務事業を実施するという組み立てとなっている。例年、この時期に事務事業の進捗状況を報告するほか、後期基本計画策定時には、当審議会において策定にかかる意見をいただきたいと考えている。 （委　員）自分が関与する団体において、「困ったこと共有会議」という組織を立ち上げた。会議の意見等を、計画に加筆していただきたい。 （委　員）アセットマネジメントを推進する上で、地域コミュニティの変化が懸念される。学校区が変わり、公民館利用、民生委員、道路網も変わる。もっと考えていかなければならないと思う。また、進捗状況は、何か良い統計の方法がないか。なぜ、「順調」ではないのか、「順調」であっても見えてこない実態があるのではないか。

	（委　員）「審議会等の女性の登用率」は「遅れている」とあるが、何か対策をしているか。 （事務局）市の附属機関等で委員の推薦を依頼する際に、こうした状況を踏まえ、女性委員の推薦について働きかけている。 （委　員）25 年前も 20%前半だったと記憶している。原因はどこにあるのか、根本的に見直す必要があるかもしれない。 （事務局）附属機関等が数多くある中で、限られた人材からの委員選出という現状の他、参加しにくいといった側面もあるかもしれないことは認識している。 （委　員）「文化芸術を支援する」取組の一つであった愛染堂修繕の際、クラウドファンディングが思うように進まなかった。我々としては、文化財の周知に努め、市の考え方を踏まえて、出来ることは協力したいと考えている。 （事務局）是非御協力いただきたい。 **7　閉会**

※　この会議記録は、熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱第１０条に規定する様式第２号により、作成しています。